



## 令和4年度放射線安全取扱部会 年次大会へのお誘い



令和4年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員長 北浦 廣剛

令和4年度放射線安全取扱部会年次大会（第63回放射線管理研修会）を令和4年10月13日（木）、14日（金）に、オンライン大会として開催します。本年次大会は北海道支部が実行委員会を組織し会場での開催を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないため、本年度もオンライン開催となりました。北海道での対面開催を楽しみにしていた方には誠に申し訳ございません。

年次大会のテーマは、昨今の時勢を踏まえ「こんな今だから..主任者は安全管理を見直す」としました。新型コロナウイルスの出現や前世紀に戻ったかのような世界情勢を考えると、放射線安全管理を見直し、いかに向上させるかが問われていると思います。それには教育に加えICTから人、設備に至る様々なレベルでの効率化と堅牢さが必要となるでしょう。そのような課題を皆様が見つめ直し、改善へとつなげていける大会を目指しています。

大会1日目では、部会総会及び功労賞・放射線安全管理奨励賞の表彰式の後、特別講演1として毎年恒例の原子力規制庁による「最近の放射線安全行政の動向について」のご講演です。放射線測定の信頼性確保の義務化に関し、令和5年10月施行が迫っています。管理者にとって交流が限られたコロナ禍の中での正確な情報収集の貴重な機会になると思います。

シンポジウム1は、「放射線測定器の精度向上と校正について」と題して、今般の法令改正に伴う点検・校正の話題について、千代田テクノル、富士電機、日本レイテックのメーカー3社からご講演いただきます。

シンポジウム2は、ポスター発表として実施して

きた放射線安全管理に係る事例紹介等を、オンライン大会であることから従前のポスター発表を口頭発表として2日間に分けて行います。ポスターは、会場開催のように会期中2日間随時閲覧可能とし、ポスター賞の授与も計画しています。

1日目の最後にオンライン交流会を開催します。

大会2日目は、企画専門委員会によるシンポジウム3「放射線管理のDX（デジタルトランスフォーメーション）」から始まります。放射線管理室のリモートワーク体制、記録・記帳のデジタル化、教育訓練のオンライン化等について、情報共有と理解を深めましょう。

特別講演2は、北海道大学大学院工学研究院の加美山隆氏に「北海道大学電子加速器駆動中性子実験施設の活動と放射線管理（仮題）」と題してご講演いただきます。

特別講演3では、北海道電力の松田茂樹氏に「泊発電所の放射線管理と北海道胆振東部地震におけるブラックアウト対応（仮題）」と題してご講演いただきます。

相談コーナーは、1日目のお昼休みに開設します。

機器展示も、オンラインで行います。休憩時間には広告動画を上映しますのでご覧ください。

全国の放射線取扱主任者並びに放射線安全管理実務担当者の皆様のご参加を、実行委員一同心よりお待ちしております。皆様の画面からではありますがオンラインにて結集していただき、新しい形の議論、情報交換の場を作り上げていきましょう。

（北海道医療大学 薬学部）